

## 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	徳島大学				
取 組 名 称	高齢社会を担う地域育成型歯学教育				
取組学部等	歯学部				
申 請 区 分	教育課程の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A11053	申 請 の 形 態	単 独	取 組 期 間	3 年
申 請 の 分 類	専門基礎	体験活動		初年次教育	
キ ー ワ ー ド	学外体験学習, カリキュラム構築, 口腔保健, 高齢者福祉, 地域貢献				

### <選定理由>

本取組は、医療人としての自覚と人間力の向上、および地域の高齢者口腔保健を通しての歯学教育との視点から歯学教育のカリキュラム構築に取り組んだプログラムとして高く評価できる。

特に、1・2年次大学病院診療科巡回体験に高齢者との交流学习や高齢者を対象とした健康長寿教室での教員の補助から成る本取組を加えることについては、地域保健福祉の理解に加えて、継続した学習意欲の保持、歯科医療におけるチーム医療教育の理解を促進するという観点から、この取組の目的を達成することについて大きな意義を有するものである。

また、徳島大学がこれまでにコミュニケーションの授業を積極的に整備し、様々なファカルティ・ディベロップメントを実施し、今後の展開について具体的な計画を立てていることなど、取組の実現性についても高く評価できる。

ただし、新設の口腔保健学科に比べて、歴史のある歯学科では新しいカリキュラムの構築が遅れている感がある。取組の実施に当たっては、この点に留意しつつ対応し、着実に成果を上げることを期待する。

## 取組の概要【1 ページ以内】

健康長寿社会を実現するためには、生活習慣病の克服が重要であり、咀嚼障害の予防・治療・維持及び口腔ケアに加えて、正しい食・咀嚼習慣の指導を担う歯科医療従事者の役割は非常に大きく、優れた人材の養成は喫緊の課題である。高齡社会に求められる歯科医療従事者像は、問題意識を持ち、どこでも（歯科診療所だけでなく在宅や福祉施設でも）、そして誰に対しても（コミュニケーションの難しい要介護高齡者を含めて）、その保健・医療・福祉を専門的立場から担える歯科衛生士及び歯科医師である。

上記の課題を解決するため、本取組では入学早期からの学内授業における歯科医療系学生としての必要な気づきを、学外体験学習での地域高齡者との交流に繋げて、**医療人としての自覚と人間力の向上**をめざし、また地域に根ざす口腔保健・高齡者福祉の重要性を体得することを目的とした**地域育成型（地域を育て地域に育てられる）歯学教育**を展開する。

1. 本取組を導入したカリキュラム構築による歯学教育体系の充実

現行の1・2年次大学病院診療科巡回体験に本取組を加えることにより、専門基礎教育を充実させる。人間力の育成と地域保健福祉の理解に加えて、継続した学習意欲の保持、専門技能の向上や2学科間の共通授業とすることによる将来のチーム歯科医療教育への効果など、**社会の求める医療人育成への大きな役割**が期待できる。学外体験学習の一部は他学部学生にも有効な教育内容であり、効果が検証されれば**大学教育カリキュラム改革の大きな柱**となるため、全学共通教育センターとの連携を図りながら全学的導入の具体策を検討する。

口腔保健学科では、設立2年目の利点を生かしてカリキュラムを構築する。コミュニケーション論を初年次授業として開講し、1・2年次に実施する学外体験学習を早期臨床実習に組入れる。歯学科では、取組期間内は現行カリキュラム範囲内で対応して導入し、学内授業は特別講義、学外体験学習は自発的研修及び早期体験実習の一部として実施する。早期に正規授業科目として、本取組を恒常的に実施できるカリキュラムを構築する。

## 2. 取組む5つの学習の概要と専門基礎教育としての効果

- 1) 「食と健康学習」：教員講話などから自己の健康管理能力を高める機会を与える。
  - 2) 「相互歯磨き学習」：相手の歯を磨くことで、他人を思いやる心を育む。
  - 3) 「気づきの体験学習」：ヒューマンコミュニケーション演習より慈しみの心を持つ。
  - 4) 「高齡者交流学習」：1日3時間、計8回の1対1の交流から、相手の立場に立って行動するホスピタリティマインドを体得し、交流者相互の役立ち感を育む。
  - 5) 「お口の健康長寿教室」：参加高齡者に対する健口体操やお口の観察プログラムなどで教員の補助を行い、口腔保健の重要性と介護予防へ果たす役割の意義を学ぶ。
- 1)～3)は学内授業として、4)、5)は学外体験学習として実施する。毎年開催する「地域育成型歯学教育シンポジウム」において歯学教育・高齡者福祉関係者から助言を受け、更に取組の教育効果は外部からの評価者を迎えて検証する。

## 3. 本取組導入による口腔保健・高齡者福祉活動への波及効果

本取組の学外体験学習による地道な地域貢献の継続は、**地域住民の健康増進に歯科が大きな役割を果たせる**ことを社会にアピールする機会となる。高齡化が著しい徳島県での口腔保健・高齡者福祉活動を支援するため、最終年度には「口腔保健・福祉県民フォーラム」を開催し、取組の展開から得られた多くの知見を保健・医療・福祉関係者や徳島県民に還元する。